

「もいがたい」

はんのう市民環境会議
環境教育部会



「もりがたがり」は、はんのう市民環境会議の監修・協力の企
もと、環境教育教材として企
画・制作された、生態系につ
いて学ぶためのカードゲーム
です。使用するカードには、
飯能市の生態系や針葉樹林の
多さといった市の自然環境が
反映されており、森林の実態
などの社会課題も盛り込まれ
ています。このゲームは飯能
市内の全小学校に配布され、
今後は五年生の総会の授業で
の活用を目指しています。

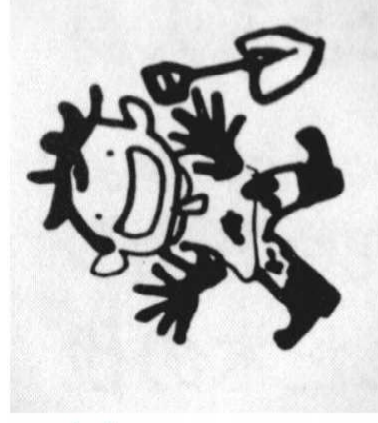


プレイ人数は4人を想定して
います。自然環境や生態系バ
ランスの大切さを学び、「生
態系の理想形」や「身近な自
然のあるべき姿」について考
え、議論する機会を提供す
ることを目標としています。



てんたの会の「エコツアー」紹介

会員 水澤智直



当会では、トラスト保全地「東谷津ほとけじょうの里」で保全活動を月2回実施している他、飯能市エコツアーリズム事業の「エコツアー」を年2回開催しています。エコツアーは、参加者に単に美しい自然や地域文化を楽しんでもらうだけでなく、生態系保護や文化継承の優先、地域や自然保護への収益還元、持続可能な方法での実施などが求められます。今回は、その中でも天覧山ならではの自然を満喫できる「かい掘りエコツアー」（10月開催）を紹介します。



かい掘りの重要性●東谷津のピオトープ池では、冬から春に掛けてヤマアカガエル、アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエルの産卵が見られ、夏の夜には周辺をゲンジボタルとヘイケボタルが乱舞します。しかし、大雨の時に小川から土砂が流れ込むため、様々な生き物が集う環境を維持するには、産卵活動が始まる前に定期的なかい掘りが欠かせません。参加者には、胴長靴を履き、膝上まで泥の中に浸かって、池の底に溜まった泥を掻き出してもらいますが、この作業のお蔭で、池が維持でき、水質も改善して、様々な生き物が棲み続けることが出来ます。●かい掘りの前には、生き物を捕獲し、じっくり観察することが出来ます。タニシ、カワニナ、ヌカエビ、ドジョウ、ヤゴなどのほか、清流にしか棲まない希少種であるホトケドジョウも間近に見ることが出来ます。



大人になっても楽しめる遊び場
参加者の顔ぶれは様々ですが、大人も子どもと一緒にあって、堂々と「泥んこ遊び」を楽しめます。石窯ピザを楽しんだ後は、原っぱでの虫探しや火起こしチャレンジを即席で実施。小割りにした薪を井桁に組み、マツチで杉の葉に着火するのですが、一発で火が着くかドキドキです。うまく燃え上がった「小さなキャンプファイヤー」に歓声が上がりました。直火を見ると、何だか本来の自分に戻ったような、ほっとした気持ちになるのは自分だけでしょうか？